

令和3年度 京都市予算案 事業概要

文化市民局

事務事業名	持続可能な文化芸術の振興 ～ウイズコロナからポストコロナへ～		
予 算 額	50,000 千円 (※令和2年度2月補正予算に計上)	新規・充実・継続の別	新規
担 当 課	文化芸術都市推進室 文化芸術企画課(366-0033)		
<p>[事業実施に至る経過・背景など] 令和2年度は、「京都市文化芸術活動緊急奨励金」の創設をはじめ、京都芸術センターでの「総合相談窓口」の開設など、ウイズコロナ社会において文化芸術活動を継続・再開するための基盤を整備してきた。 令和3年度は、この基盤を維持・発展させながら、ポストコロナ社会に向けて、持続可能な文化芸術活動の振興を図る施策を展開する。</p>			
<p>[事業概要]</p> <p>1 総合相談窓口事業 ウイズコロナ社会での文化芸術活動の継続・再開に関する相談に総合的に対応するため、令和2年7月に京都芸術センターに開設した総合相談窓口を継続設置する。</p> <p>2 「ふるさと納税寄付金」を活用した文化芸術支援制度の創設 長期化する新型コロナウイルス感染症の影響を受ける文化芸術活動について、民間資金を活用したサポートを行う制度を創設する。 市内で開催される文化芸術事業を公募し、本市が募るふるさと納税寄付金の一部を応募事業に活用することで、厳しい状況にある文化芸術活動を支援する。</p>			
<p>[参 考 (他都市の状況・事業効果など)]</p>			

令和3年度 京都市予算案 事業概要

文化市民局

事務事業名	KYOTO STEAM－世界文化交流祭－		
予算額	150,000 千円	新規・充実・継続の別	継続
担当課	文化芸術都市推進室 文化芸術企画課(366－0033)		
<p>【事業実施に至る経過・背景など】</p> <p>平成29年度から5年間、文化庁の補助事業を活用し、芸・産学公の連携による文化芸術都市・京都の持続的な発展を目指す「KYOTO STEAM (※)－世界文化交流祭－」事業に取り組んでいる。本事業は、「アート×サイエンス・テクノロジー」をテーマとした国際的な文化・芸術フェスティバルの開催を中心に、人材育成、ネットワーク構築の三位一体で取り組んでおり、地域経済の発展等に資することを目的としている。</p> <p>※ STEAM・・・Science (科学), Technology (技術), Engineering (工学), Arts (芸術), Mathematics (数学)</p>			
<p>【事業概要】</p> <p>令和3年度は、平成29年度から5年間の集大成となる「KYOTO STEAM－世界文化交流祭－2022」を開催。アーティストと企業・研究所等団体を公募し、そのコラボレーションアート作品を展示・表彰する「KYOTO STEAM 2022 国際アートコンペティション」をメインプログラムとして、「アート×サイエンス・テクノロジー」をテーマとした各種プログラムを、岡崎地域を中心に実施する。(令和3年12月～令和4年2月予定)</p>			
<p>【主なプログラム】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ KYOTO STEAM 2022 国際アートコンペティション ・ NAQUYO－平安京の幻視宇宙－ KYOTO STEAM in collaboration with MUTEK. JP ・ 古典文学×伝統芸能×新技術～ CIRQUE de KYOTO ・ アート×サイエンス IN 京都市動物園 アートで感じる？チンパンジーの気持ち ・ STEAM THINKING－未来を創るアート 京都からの挑戦 LABO / Art×Science GIG <p>ほか</p>			
<p>【参 考 (他都市の状況・事業効果など)】</p> <p>令和2年秋季に京都市京セラ美術館で開催した「KYOTO STEAM 2020 国際アートコンペティション スタートアップ展」では、「アート×サイエンス・テクノロジー」から広がる新しい文化芸術の表現や今後の可能性を感じていただくことができた。</p>			

令和3年度 京都市予算案 事業概要

文化市民局

事務事業名	子どもたちが文化芸術に触れる機会の創出		
予算額	33,000 千円	新規・充実・継続の別	継続
担当課	文化芸術都市推進室 文化芸術企画課(366-0033)		
<p>[事業実施に至る経過・背景など]</p> <p>本市では、子どもたちの豊かな感性や人間性を育むとともに、京都の文化芸術の魅力を自分の言葉で国内外の人に伝え、発信できる青年層に育成することを目指して、子どもたちが優れた文化芸術に触れる機会を創出する事業（「文化芸術授業（ようこそアーティスト）」、「伝統公演授業（ようこそ和の空間）」）を実施している。</p> <p>子どもたちが文化芸術に触れられる機会はまだまだ少ないことや、本授業を受けたことによって文化芸術への興味・関心が向上したことなどが、参加者へのアンケート結果からわかっており、本事業の有効性も確認されているところである。</p> <p>そのため、令和2年度は、より多くの子どものためにその機会を提供できるよう、事業の拡充を図り、最大限の感染防止策を講じたうえで実施した。</p> <p>令和3年度も、新型コロナウイルス感染症による影響が長期化し、社会や経済など、様々な活動が制約を受ける厳しい状況の中、人の心に作用する文化芸術の果たす役割は大きいため、本事業により、子どもたちがほんものの文化芸術に触れられる機会を確保するとともに、次世代の「担い手」、「支え手」の育成に取り組む。</p>			
<p>[事業概要]</p> <ol style="list-style-type: none"> 文化芸術授業（ようこそアーティスト） 伝統芸能から現代アートまで、幅広い分野における一流の芸術家を小・中学校等に派遣し、ワークショップ等を実施する。70箇所、120回程度の授業を実施予定。 伝統公演授業（ようこそ和の空間） 中学生を対象に、能楽堂等の本格的な文化芸術の舞台で能、狂言、邦舞などの伝統芸能公演の鑑賞機会を設ける。2日間で4公演を実施予定。 			
[参 考（他都市の状況・事業効果など）]			

令和3年度 京都市予算案 事業概要

文化市民局

事務事業名	文化芸術による共生社会実現に向けた基盤づくり事業		
予算額	15,200 千円	新規・充実・継続の別	継続
担当課	文化芸術都市推進室 文化芸術企画課(366-0033)		
<p>【事業実施に至る経過・背景など】 新型コロナウイルス感染症による影響が長期化し、「自粛疲れ」や「偏見・差別」の問題が深刻化する中、人の心に作用する文化芸術の果たす役割は大きい。文化芸術により、社会課題や困難の緩和につなげ、共生社会を実現するための基盤づくりに引き続き取り組む。</p> <p>【経過】 平成29年度「文化芸術で人が輝く社会づくりモデル事業」において、市内外の事例調査及び3つのモデル事業(子どもプロジェクト/LGBTプロジェクト/多文化共生プロジェクト)を実施した。 平成30年度は、市内外の事例調査、普及・啓発事業、モデル事業の実施に加え、文化芸術と社会課題をつなぎ、コーディネートする人材の育成や、福祉施設等が文化芸術の取組に着手しようとする際の相談事業の在り方の企画、検討を行った。 令和元年度からはHAPS*の事業として、市内外の事例調査、普及・啓発事業、モデル事業を実施し、令和2年度には、HAPSの相談機能を拡充した「Social Work / Art Conference」を開設し、コーディネーターの育成にも取り組んでいる。 ※ HAPS…東山 アーティスツ・プレイスメント・サービス。若手芸術家等の居住・制作・発表支援を行う団体として、平成23年9月に設立。</p>			
<p>【事業概要】 文化芸術による共生社会の実現に向け、以下の事業を実施する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 相談事業 HAPSの相談機能を拡充し、令和2年度から開設した「Social Work / Art Conference」において、芸術家等が社会課題へアプローチする際や、福祉施設等が文化芸術の取組に着手しようとする際の相談に対応する。 2 他都市・市内の事例調査 多様な相談に対応し、先進的な事業を実施するため、他都市・市内事例（文化芸術の取組を先駆的に実施している福祉施設、支援団体など）の調査を継続する。 3 普及・啓発事業 芸術家や芸術系大学生、福祉分野の職員等に、社会課題にアプローチするアートプログラムの事例や効果を伝えるための講座を実施する。 4 モデル事業 文化芸術を活用し、社会課題や困難の緩和につながる取組の効果を検証するため、芸術家が福祉施設等と関わり、モデルとなる事業を継続する。 5 コーディネーター育成 文化芸術と社会課題をつなぐ、コーディネーターを育成する。 			
<p>【参 考（他都市の状況・事業効果など）】</p>			

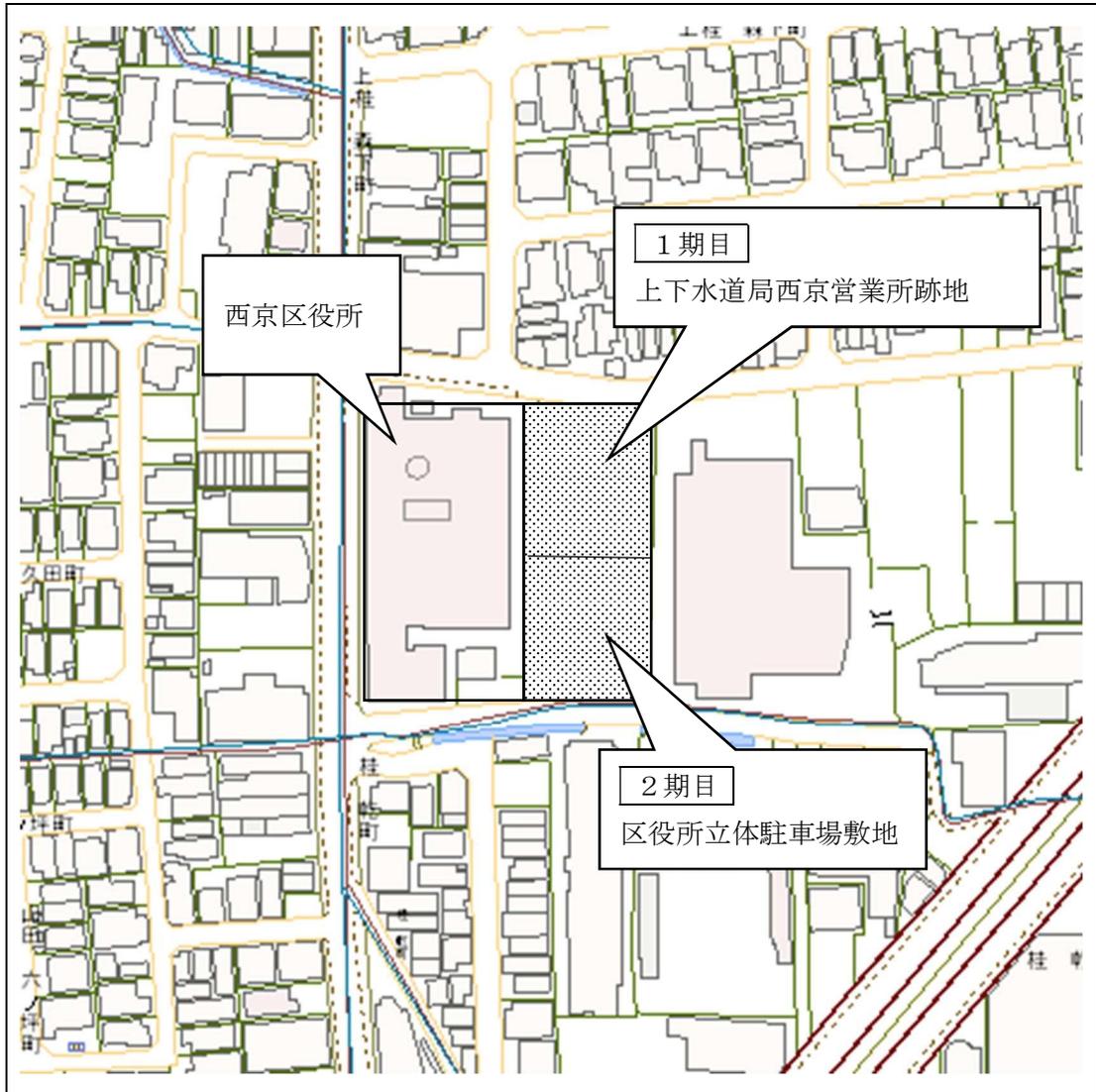
令和3年度 京都市予算案 事業概要

文化市民局

事務事業名	西京区総合庁舎整備		
予算額	255,600 千円	新規・充実・継続の別	継続
担当課	地域自治推進室 区政推進担当(222-3048)		
<p>【事業実施に至る経過・背景など】</p> <p>本市では、保健、福祉など市民生活に密着した要望や地域課題の解決に向けて、それぞれの地域のニーズや実情を踏まえ、総合的に市民サービスの向上を図るため、市民に最も身近な行政機関である区役所の総合庁舎化を順次進めてきた。</p> <p>西京区役所については、保健福祉センター別館が離れた場所にあり、老朽化していることに加え、耐震化に課題があることから、区民の皆様の利便性向上を図るため、西京区役所と保健福祉センターを一体化した総合庁舎の整備に向け、令和元年度、「西京区総合庁舎整備基本計画」を策定し、令和2年度は、基本設計に着手している。</p>			
<p>【事業概要】</p> <p>新たな西京区総合庁舎については、UR住宅と合築となっている現庁舎の有効活用を図りつつ、東隣の上下水道局西京営業所跡地とその南側の西京区役所立体駐車場敷地を活用して整備する。</p> <p>令和2年度は、基本設計に着手しており、<u>令和3年度は、引き続き、実施設計及び上下水道局西京営業所の解体工事を行う。</u></p> <ol style="list-style-type: none"> 1 整備場所 (別添参照) 2 整備内容 整備は2期に分けて行う。 <ul style="list-style-type: none"> ・1期目： UR住宅と合築となっている現庁舎の有効活用を図りつつ、令和5年度の供用開始を目指して、上下水道局西京営業所跡地に新庁舎を整備（現在の保健福祉センター別館の機能を統合。あわせて、区民交流スペース等を設置） ・2期目： 区民のニーズや社会情勢の変化を十分に見据えたうえで、URとの土地賃貸借契約期間（令和20年10月まで）を念頭に、現区役所の立体駐車場敷地を活用し、1期目に整備する新庁舎と一体となるよう、庁舎を増築整備 3 1期目のスケジュール (別添参照) 			
<p>【参 考（他都市の状況・事業効果など）】</p>			

(別添資料)

・整備場所



・1期目のスケジュール

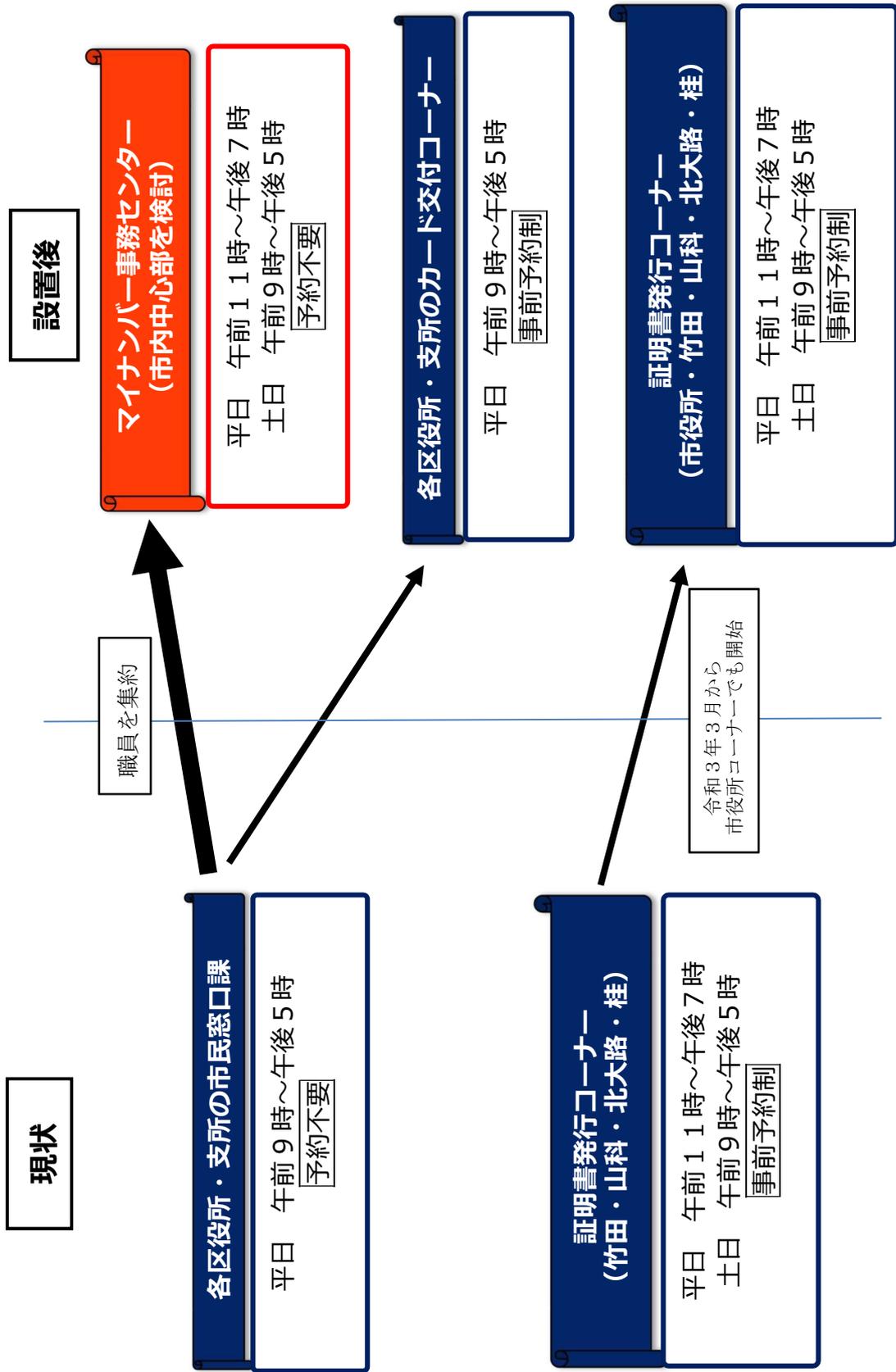
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
新庁舎	基本計画策定	設計	工事等 (各種手続き含む)		供用開始
上下水道局 西京営業所			解体		

令和3年度 京都市予算案 事業概要

文化市民局

事務事業名	マイナンバーカードの普及促進		
予算額	1,994,146 千円	新規・充実・継続の別	継続
担当課	地域自治推進室 市民窓口企画担当(222-3085)		
<p>【事業実施に至る経過・背景など】</p> <p>デジタル社会の基盤であるマイナンバーカードについて、国が令和4年度末までにほとんどの住民が保有する想定を示している。また、令和3年3月には健康保険証としての利用開始が予定されているほか、運転免許証との一体化をはじめ、行政の効率化、国民の利便性の向上及び公平・公正な社会の実現に向けて、様々な利活用が検討されている。</p> <p>本市としても、国の方針を踏まえ、マイナンバーカードの交付率100%を目指し、申請受付機会の拡大や積極的な広報の実施等により、マイナンバーカードの普及促進を加速させるとともに、交付体制の整備に取り組む必要がある。</p>			
<p>【事業概要】</p> <p>1 申請受付機会の拡大 マイナンバーカードの申請機会拡大のため、委託業者が商業施設等に開設する「出張申請サポート窓口」を通年実施にするとともに、実施施設を拡大する。 また、本市職員が事業所等に出向く「出張申請窓口」についても積極的に実施していく。</p> <p>2 取得メリット等に関する広報 マイナンバーカードの取得メリット・利便性（各種証明書のコンビニ交付やスマート申請、健康保険証としての利用等）について、交通広告や市民しんぶん等を活用した広報のほか、市の関係団体や地域団体等を通じた周知を行う。</p> <p>3 交付体制の整備 マイナンバーカードの円滑な交付のため、マイナンバー制度の企画調整や交付等を行う「マイナンバー事務センター（仮称）」を新設し、交付等の業務を集約することで、スケールメリットを活かした効率的な体制を構築するとともに、平日夜間・休日のカード交付体制を強化する。これにより、「マイナンバーカード交付円滑化計画」に記載する想定枚数（40,000枚/月）を目指す。 また、センターへの来庁が困難な方への対応として、各区役所・支所にマイナンバーカード交付コーナーを設置し、事前予約制での交付を行う。</p>			
<p>【参 考（他都市の状況・事業効果など）】</p>			

マイナナンバー事務センター（仮称）設置後のカード交付窓口のイメージ



令和3年度 京都市予算案 事業概要

文化市民局

事務事業名	マイナンバー制度の導入等を契機とした窓口サービス向上と業務の効率化		
予算額	209,193 千円	新規・充実・継続の別	継続
担当課	地域自治推進室 市民窓口企画担当(222-3085)		
<p>【事業実施に至る経過・背景など】</p> <p>区役所窓口サービスの向上及び業務の効率化を図るため、平成30年4月に策定した「区役所窓口サービス向上プラン」に基づき、平成31年1月から、住民票の写しや印鑑登録証明書等の各種証明書のコンビニ交付サービスを開始するなど、取組を進めてきた。</p> <p>この間の新型コロナウイルス感染拡大を契機とした生活スタイルの変化、区役所窓口における密集対策等の課題、並びに行政のデジタル化の動向を踏まえ、ICTを一層活用することによる窓口サービス向上と業務の効率化を図る。</p>			
<p>【事業概要】</p> <p>以下の観点で窓口サービス向上に向けた取組を推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○できるだけ自宅で手続き又はその準備をしていただくこと。 ○窓口での手続きの円滑化及び時間短縮を図ること。 ○効率的な手法による来庁者のサポートを図ること。 <p><取組内容></p> <p>1 <u>くらしの手続きガイド（令和3年2月24日から実施）</u> 引越し、婚姻、出生、死亡などのライフイベントごとに、スマートフォン等から、簡単な質問に答えていくだけで、必要な手続きや持ち物が分かるウェブ上の手続案内サービス</p> <p>2 <u>スマート申請（令和3年3月目途に実施予定）</u> 住民票の写しや印鑑登録証明書について、スマートフォン等から、マイナンバーカードを用いた電子署名及びクレジットカード決済により請求できるサービス</p> <p>3 <u>書かない窓口の取組（令和3年度に試行実施予定）</u> 窓口での手続きで、マイナンバーカード等からの基本情報の取得、共通項目の自動入力などにより、市民の方の申請書作成の負担軽減を図る「書かない窓口」の取組をモデル区で試行実施</p>			
<p>【参 考（他都市の状況・事業効果など）】</p> <p><他都市の導入事例></p> <p>神戸市：神戸スマートナビ (https://ttzk.graffer.jp/city-kobe)</p> <p>鎌倉市：くらしの手引きガイド (https://ttzk.graffer.jp/city-kamakura)</p> <p>四条畷市：住民票のインターネット請求 (https://www.city.shijonawate.lg.jp/soshiki/15/13526.html)</p>			

令和3年度 京都市予算案 事業概要

文化市民局

事務事業名	地域コミュニティにおける新しいつながり創出支援事業		
予算額	4,000 千円	新規・充実・継続の別	継続
担当課	地域自治推進室 地域づくり推進担当(222-3049)		
<p>【事業実施に至る経過・背景など】</p> <p>新型コロナウイルス感染症の拡大により、多くの地域活動が中止・縮小に追い込まれ、感染が終息しない中で、地域活動や地域コミュニティの衰退を招く恐れがある。</p> <p>そこで、ウイズコロナ社会においても地域コミュニティを衰退させないよう、令和2年8月から「新しい地域活動スタイル」普及促進事業をスタートし、感染予防をしながら安心して地域活動に取り組んでいただくため、新しい活動スタイルの紹介や、感染予防策に係る経費の助成を行うとともに、非接触・非対面での地域活動の継続、多様なつながり創出にも資するICTツール（ZoomやLINE等）の導入を支援してきた。</p>			
<p>【事業概要】</p> <p>ICTツールは、事務負担の軽減やコミュニケーションの円滑化等、地域活動に様々な効果をもたらすことから、令和2年度から開始したICT導入支援を本格化し、ICTツールを活用した「新しい地域活動スタイル」を更に普及、定着させることを目指して、以下の取組を行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> ICT導入に関心を持ってもらうための啓発 <ul style="list-style-type: none"> ICT導入の効果、事例の紹介 (自治会・町内会&NPOおうえんポータルサイト等における啓発) ICT導入に関心を持った団体へのノウハウ習得の支援 <ul style="list-style-type: none"> ICT導入マニュアル（冊子・動画） ICTツールの導入を予定する地域団体への出前研修会 (団体の実情やニーズに即したアドバイスなどを個別に実施) <p><他事業予算との連携></p> <p>ICT導入に係る費用の助成</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域コミュニティ活性化に向けた地域活動支援制度の運用 ※別枠の消費枠予算「地域コミュニティ活性化策の推進」内で運用する。 			
<p>【参 考（他都市の状況・事業効果など）】</p> <p>令和2年度の実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ICT導入マニュアル冊子や動画を作成し、本市HP上に公開 ICT導入体験研修会を開催 地域団体の実情やニーズに即したアドバイス等を個別に実施 			

令和3年度 京都市予算案 事業概要

文化市民局

事務事業名	「ワールドマスターズゲームズ2021関西」大会開催準備		
予算額	92,000 千円	新規・充実・継続の別	継続
担当課	市民スポーツ振興室(366-4588)		
<p>[事業実施に至る経過・背景など]</p> <p>ワールドマスターズゲームズ2021関西については、新型コロナウイルス感染症拡大状況を踏まえ、大会の理念・趣旨を実現するため、昨年11月に1年延期が決定し、本年1月に令和4年5月13日(金)から5月29日(日)までの17日間の開催が決定された。</p> <p><ワールドマスターズゲームズ2021関西概要></p> <ul style="list-style-type: none"> ・概ね30歳以上であれば誰でも参加できるアジアで初めて開催される世界最大級の生涯スポーツの祭典。本市をはじめとする関西一円で35競技・59種目が実施される。 ・本市では、開会式のほか、陸上(トラック&フィールド)、バドミントン、空手道、スカッシュの4つの公式競技及び、オープン競技としてペタンク、ダブルダッチを開催する。 			
<p>[事業概要]</p> <p>令和3年度は、延期に伴う各種課題への対応等に取り組むとともに、広報活動、財源確保に向けた活動を行い、大会組織委員会や各種競技団体、地域団体等と連携を図りながら、大会の成功に向けて準備を進めていく。</p>			
<p>[参考(他都市の状況・事業効果など)]</p>			

令和3年度 京都市予算案 事業概要

文化市民局

事務事業名	東京2020オリンピック聖火リレー事業		
予算額	65,000 千円	新規・充実・継続の別	継続
担当課	市民スポーツ振興室(366-0314)		
<p>[事業実施に至る経過・背景など]</p> <p>東京2020オリンピックの競技が開催されない本市にとって、聖火リレーは半世紀ぶりに市民がオリンピックを身近に感じることができる貴重な機会である。</p> <p>東京2020オリンピック聖火リレーについては、令和2年3月、国際オリンピック委員会（IOC）と組織委員会により東京2020大会と聖火リレーの延期が発表された。同年9月には、組織委員会から新たな聖火リレーの実施日程が発表され、京都市内は令和3年5月26日（水）に実施されることとなった。</p>			
<p>[事業概要]</p> <p>東京2020オリンピックを市民が身近に感じる機会の創出と、京都の魅力を世界へ発信するため、組織委員会、京都府実行委員会及び京都府警と連携して、安心・安全を確保するとともに新型コロナウイルス感染症対策をしっかりと講じたうえで、京都市内における聖火リレー及びゴール地点である岡崎公園での聖火の到着を祝うセレブレーションを実施する。</p> <p><京都市内聖火リレーの概要></p> <p>日 程：令和3年5月26日（水）</p> <p>※京都府内は令和3年5月25日（火）及び26日（水）の2日間行われ、うち京都市内は2日目の最終区間</p> <p><セレブレーション概要></p> <p>最終聖火ランナーの到着時に聖火到着を祝うイベントで、聖火を聖火皿に灯すセレモニーやスポンサーのブース出展、ステージプログラムで聖火リレーを盛り上げる。</p>			
<p>[参 考（他都市の状況・事業効果など）]</p> <ul style="list-style-type: none"> 東京2020オリンピック聖火リレーは、令和3年3月25日から7月23日のオリンピック開会式まで121日間をかけて全国47都道府県を巡回し、全国の859の市区町村を通過する。 京都市の延期前のルート：二条城→御池通→川端通→二条通→岡崎公園（約4km） 			

令和3年度 京都市予算案 事業概要

文化市民局

事務事業名	京都ならではの地域力を活かした協働型まちづくり 「区民提案・共汗型まちづくり支援事業予算」																										
予算額	200,720千円	新規・充実・継続の別	継続																								
担当課	地域自治推進室 区政推進担当(222-3048)																										
<p>[事業実施に至る経過・背景など]</p> <p>区民の自主的、自発的な活動を更に活性化させるため、地域課題の解決や「自分たちのまちは、自分たちでつくっていく」という地域のまちづくりを、区役所が柔軟かつスピーディーにしっかりと支えていく協働の仕組みづくりとして、新たな予算システム「京都ならではの地域力を活かした協働型まちづくり『区民提案(*1)・共汗型まちづくり支援事業(*2)予算』」を平成24年度に創設し、本市のあらゆる施策のベースとなる「地域力」の強化を図る取組を推進してきた。</p> <p>令和3年度策定の次期各区基本計画の下、最も市民に身近な区役所・支所が区民のニーズを踏まえた事業を実施する等により、区民の京都ならではの地域力を活かした協働型のまちづくりの取組を進める。</p>																											
<p>*1 区民提案型支援事業 (53,494千円) 区基本計画に掲げる区のビジョンの実現に向けて区民が自発的、自主的に企画、運営する事業を募集し、審査会の選考により採択し、経費の一部を補助する。</p> <p>*2 共汗型事業 (147,226千円) 区基本計画の実現や地域課題の解決に向けて、幅広い区民が参画する区民まちづくり会議における議論等を踏まえ、区民と区役所が共汗して取り組む区民ぐるみの事業を実施する。</p>																											
<p>[事業概要]</p> <p>各区における具体的な事業については、各区作成資料のとおり。</p> <p>○ 各区予算額 (単位：千円)</p> <table border="0"> <tr> <td>北 区</td> <td>22,563</td> <td>東山区</td> <td>10,596</td> <td>右京区</td> <td>21,938</td> </tr> <tr> <td>上京区</td> <td>12,520</td> <td>山科区</td> <td>19,513</td> <td>西京区</td> <td>19,725</td> </tr> <tr> <td>左京区</td> <td>18,070</td> <td>下京区</td> <td>13,647</td> <td>伏見区</td> <td>35,445</td> </tr> <tr> <td>中京区</td> <td>13,930</td> <td>南 区</td> <td>12,773</td> <td>合 計</td> <td>200,720</td> </tr> </table>				北 区	22,563	東山区	10,596	右京区	21,938	上京区	12,520	山科区	19,513	西京区	19,725	左京区	18,070	下京区	13,647	伏見区	35,445	中京区	13,930	南 区	12,773	合 計	200,720
北 区	22,563	東山区	10,596	右京区	21,938																						
上京区	12,520	山科区	19,513	西京区	19,725																						
左京区	18,070	下京区	13,647	伏見区	35,445																						
中京区	13,930	南 区	12,773	合 計	200,720																						
[参 考 (他都市の状況・事業効果など)]																											

令和3年度 京都市予算案 事業概要

北区役所

事務事業名	京都ならではの地域力を活かした協働型まちづくり 「区民提案・共汗型まちづくり支援事業予算」		
予算額	22,563 千円	新規・充実・継続の別	継続
担当課	地域力推進室(432-1199)		
<p>【事業実施に至る経過・背景など】 北区の強みである、地域コミュニティが持つ「つながり」の力をいかしたまちづくりをテーマとする北区基本計画を推進するため、「自分ごと」「みんなごと」のまちづくりに資する事業に重点的に予算を配分する。アフターコロナ社会を見据え、ICT 技術も活用し、これまで以上に多くの区民の皆様に参画をいただく。</p>			
<p>【事業概要】 【区民提案型支援事業】 ○ 【つながる 北区 Next】 北区民まちづくり提案支援事業 北区基本計画を推進する、区民の自発的・自主的なまちづくり事業に対し経費の補助などの支援を行う。</p> <p>【共汗型事業】 ○ 【つながる 北区 Next】 オンラインネットワーク「北区まちづくりプラットフォーム」の構築（新規） アフターコロナ社会の中で、より多くの区民の皆様にまちとの「つながり」を持つていただくため、情報の交換や集積、学びの機会等を提供するオンラインネットワークを構築する。</p> <p>○ 船岡山を活かした魅力スポットの創出 ※「西陣を中心とした地域活性化ビジョン」(H31.1)掲載事業 歴史的・文化的資源を有する船岡山やその周辺エリアの更なる魅力向上を図り、地域住民はもとより観光客にも親しまれる魅力的なスポットの創出に取り組む。(～R4.3 終了)</p> <p>○ 「インターバル速歩」を活用した「健康長寿のまち・北区」の推進 京都産業大学と連携し、ロコモティブシンドローム(※)の予防や生活習慣病リスクの改善に効果があるとされている「インターバル速歩」の普及啓発に努める。(～R4.3 終了) ※運動器症候群。運動器の障害のため、移動機能に低下をきたした状態。</p> <p>○ 北区「WA(わ)のこころ」創生事業(充実) 文化の背景も含めた「WA(わ)のこころ」を次世代に継承することを目的として、区民が“ホンモノ”の日本の伝統文化に触れる機会を創出する。<u>北区のコミュニティラジオ「RADIO MIX KYOTO」も活用し、幅広い層の区民に届ける。</u></p>			
[参 考 (他都市の状況・事業効果など)]			

令和3年度 京都市予算案 事業概要

上京区役所

事務事業名	京都ならではの地域力を活かした協働型まちづくり 「区民提案・共汗型まちづくり支援事業予算」		
予算額	12,520 千円	新規・充実・継続の別	継続
担当課	地域力推進室(441-5029)		
<p>【事業実施に至る経過・背景など】</p> <p>令和3年度は、次期上京区基本計画のスタートの年度であり、とりわけ、コロナ禍によって生じた課題や知見を踏まえつつ、5年間という短期間で目標を達成する必要がある。</p> <p>そのことから、SDGsの理念のもと、大変厳しい財政状況を踏まえ、これまで以上に、徹底した選択と集中、共汗と融合を図りながら、地域力の源泉となる「近助」（顔の見える関係）の力の再生・強化を重視する等、次期上京区基本計画の推進を見据えた取組を進める。</p>			
<p>【事業概要】</p> <p>【区民提案型支援事業】</p> <p>○ 上京区民まちづくり活動支援事業</p> <p>上京区基本計画の推進に向け、区民の自発的、主体的なまちづくり活動への補助を通して、地域コミュニティの振興と区民参加によるまちづくりを進める。</p> <p>【共汗型事業】</p> <p>○ <u>地域企業と大学生による地域課題解決プロジェクト（新規）</u></p> <p>地域企業と学生が協働し、地域を知るまち歩きや企業訪問、新商品の開発等を行い、地域の担い手の育成と、地域の活性化を図る。</p> <p>○ <u>地域をつなぐICT活用プロジェクト（新規）</u></p> <p>オンライン会議の開催等ICTの活用事例の紹介やICT導入に当たっての解説等の講座を開催し、新しい生活スタイルの促進を図る。</p> <p>○ <u>「近助」～地域の担い手発掘&町内会や世代間の交流事業（新規）</u></p> <p>地域コミュニティ活性化に向けて、若い世代の地域活動への参加促進や、学区の将来像を描く学区ビジョンの策定の推進、自治会・町内会同士の情報交換や課題解決に向けたノウハウの共有等を図る。</p>			
【参 考（他都市の状況・事業効果など）】			

令和3年度 京都市予算案 事業概要

左京区役所

事務事業名	京都ならではの地域力を活かした協働型まちづくり 「区民提案・共汗型まちづくり支援事業予算」		
予算額	18,070 千円	新規・充実・継続の別	継続
担当課	地域力推進室(702-1021)		
<p>【事業実施に至る経過・背景など】 次期左京区基本計画（第3期）（令和3年度～令和7年）ではまちづくりの基本姿勢として「誰一人取り残さない」SDGsの理念を踏まえ、ウィズコロナ時代における新しい生活スタイルに対応した持続可能でより安心安全のまちづくりを推進することを位置付ける予定である。これを踏まえ、区民をはじめ、区内の行政機関や地域団体、大学、事業者、NPO、各種団体等の皆様によるまちづくりを更に推進し、地域課題の解決や左京のまちの魅力向上を図る。</p>			
<p>【事業概要】 【区民提案型支援事業】 ○ 左京区まちづくり活動支援事業 左京区基本計画の推進に向け、区民が自発的、自主的に企画、運営するまちづくり活動への経費の補助を行う。</p> <p>【共汗型事業】 ○ 左京区民ふれあい事業（ふれあいまつり等） 区民の相互交流を深めるため、各種団体等と協力して、ふれあいまつり、ふれあいセミナー、正月いけばな教室等を実施する。</p> <p>○ <u>北部山間地域魅力創造・発信事業（新規）</u> 北部山間地域の様々な魅力を体験してもらう事業の実施や、滞在型グリーン・ツーリズムの推進を地元と本市が一体で取り組むことにより、交流人口の増加や、将来的には定住人口の増加につなげる。</p> <p>○ <u>まちづくりネットワーク形成事業（新規）</u> 区民や様々な団体とネットワーク会議を開催し、左京区のまちづくりについて様々な立場から意見交換を行うことで、地域のまちづくりの担い手の裾野拡大・育成や、新たなまちづくり活動の誕生、まちづくり活動の維持・活性化を図る。</p> <p>○ 左京・健康なまちづくりプロジェクト（充実） 地域特性や区民の声を生かした健康講座の実施や健康づくりに関する冊子の配布といった取組を行い、区民の皆様が安心して健康で暮らせる、健康長寿のまち・左京の実現を図る。</p>			
<p>【参 考（他都市の状況・事業効果など）】</p>			

令和3年度 京都市予算案 事業概要

中京区役所

事務事業名	京都ならではの地域力を活かした協働型まちづくり 「区民提案・共汗型まちづくり支援事業予算」		
予算額	13,930 千円	新規・充実・継続の別	継続
担当課	地域力推進室(812-2421)		
<p>【事業実施に至る経過・背景など】</p> <p>「中京区基本計画」を着実に推進するため、区民主体のまちづくり活動を支援する「区民提案型支援事業」や区民との協働で地域課題に取り組む「共汗型事業」を実施している。</p>			
<p>【事業概要】</p> <p>【区民提案型支援事業】</p> <p>○ <u>区民主体のまちづくり活動を支援する3事業の統合（統合再編）</u></p> <p>「中京クーチャーセンター(※1)」を中心に、「中京区民まちづくり支援事業(※2)」及び「中京マチビトCafe(※3)」の事業を統合再編し、地域、事業者、大学など、多様な主体が集まる交流の場を設け、従来にない発想やアイデアの創出を誘発し、防災、子育てなど、地域課題の解決につなげる。</p> <p>※1 多様な人が集い、「未来志向で新たな価値を創造する」という視点でさまざまな課題について議論し、解決に取り組んでいく場（フューチャーセンター）の中京区版</p> <p>※2 「中京区基本計画の目指すまちの将来像」の実現のために取り組む、区民主体のまちづくり活動を支援する事業。</p> <p>※3 中京のまちを元気にしようと活動しているまちづくりびと（マチビト）が集まり、中京の今後の自主的なまちづくりについて、ワークショップ形式で話し合う交流会。</p> <p>【共汗型事業】</p> <p>○ <u>次代につなぐ子ども・若者の学びプロジェクト（新規）</u></p> <p>中小企業家同友会及びグローバル人材開発センターと連携し、QUESTIONビル（京都信用金庫河原町ビル）を拠点に若者の発想を生かした地域企業活性化策を検討・実施するほか、地域企業と連携し、ものづくりの現場を知る見学会を実施する。</p> <p>○ <u>大学との連携事業（新規）</u></p> <p>これまで締結してきた3つの大学（京都看護大学、花園大学、佛教大学）との包括連携協定を生かし、地域と学生を結び付けた健康づくり事業等、さまざまな取組の推進により、地域課題の解決や将来を担う人材の育成につなげていく。</p> <p>○ <u>中京区応援サイト「なかなか中京」（充実）</u></p> <p>コロナ禍にあっても頑張る商店街や事業者の活動を紹介する中京区応援サイト「なかなか中京」（令和2年度新設）を引き続き運用し、伝統産業品や生花、授産製品等の利用呼びかけやコロナ禍でも模範となる地域活動等を発信する。</p> <p>○ <u>「15分で分かるスマホ活用術」講座（新規）</u></p> <p>「新しい生活スタイル」に対応した地域活動が積極的に展開される基盤をつくるため、地域団体向けのスマートフォンの活用講座の開催や活用事例の発信による普及を図る。</p> <p>○ <u>中京パパ応援プロジェクト（新規）</u></p> <p>「中京ベビーズサポートマーケット」プロジェクト事業で取り組んできた「子育てを楽しむまちづくり」のさらなる推進に向け、特に女性の妊娠から産後までの間に必要となる男性の「家事や子育てへの参加」に役立つ情報をまとめた冊子を作成する。</p>			
【参 考（他都市の状況・事業効果など）】			

令和3年度 京都市予算案 事業概要

東山区役所

事務事業名	京都ならではの地域力を活かした協働型まちづくり 「区民提案・共汗型まちづくり支援事業予算」		
予算額	10,596 千円	新規・充実・継続の別	継続
担当課	地域力推進室(561-9105)		
<p>【事業実施に至る経過・背景など】 人口減少や地域コミュニティの持続化、子育て環境の充実、市民生活と観光の調和等の東山区の重要課題に対して、令和3年度策定の次期区基本計画の下、重点的に取り組み、「住んでよし、訪れてよし」のまちづくりを推進する施策を展開する。</p>			
<p>【事業概要】 区民提案型支援事業については、大学等の関係機関と協働して区の課題解決を図る3つのプロジェクト型事業に取り組むとともに、区民等が自発的、自主的に企画、運営するまちづくり活動への経費助成を行う（課題解決型事業等）。共汗型事業については、<u>人口減少や地域コミュニティの持続化に対応する新規事業</u>のほか、地域で子どもをはぐくむ事業等5事業を実施する。</p> <p>【区民提案型支援事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 東山区まちづくり支援事業（プロジェクト型事業） <ol style="list-style-type: none"> 1 ユニバーサルツーリズムに関するプロジェクト 人にやさしい、まちにやさしい東山の実現に向け、ユニバーサルデザインを取り入れるためのヒント集を作成し、区内店舗等へ配布するなど、だれもが楽しめるユニバーサルツーリズムを推進する。 2 高齢者支援・多世代交流プロジェクト 地域で活動する学生が、高齢者の居場所（空き家をDIYして設置）の運営や日常交流を行いながら、地域の体操教室のICT化サポートなどを実施する。 3 東山南部地域の魅力発信プロジェクト 東山南部地域の活性化のため、区内の学生が中心となって東山区の魅力を発掘し、SNS等を通じた情報発信や、社寺、商店街等と連携したPR活動を行う。 ○ 東山区まちづくり支援事業（課題解決型事業等） 地域の様々な課題や区計画の実現に向けて、区民等が自発的、自主的に企画、運営するまちづくり活動への経費の助成を行う。 <p>【共汗型事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ <u>住んでこそ東山プロジェクト（新規）</u> 区民の定住意欲や区外からの移住意欲を喚起するなど、人口減少に歯止めをかけるとともに、地場産業などの活性化により、活力ある地域づくりを目指して、区民、関係機関及び区役所が一丸となってあらゆる分野での対応策を調査検討し、効果的な取組につなげる。 ○ 地域ぐるみで子どもたちをはぐくもう！東山 赤ちゃんが誕生した家庭へ主任児童委員が地域からのお祝い品をお届けする「東山はぐくみハッピーギフト」事業や、地域の子育て支援機関等と連携した交流会の実施を通して、子育て家庭と地域とのつながりを強化し、子育てしやすいまちづくりを推進する。 ○ つながる防災コミュニティの実現 区総合防災訓練及び、区民防災研修会をはじめ、災害時における避難行動及び避難所運営に関する訓練等を通し、地域・世代がつながる防災・減災のコミュニティづくりを推進する。 			
<p>【参 考（他都市の状況・事業効果など）】</p>			

令和3年度 京都市予算案 事業概要

山科区役所

事務事業名	京都ならではの地域力を活かした協働型まちづくり 「区民提案・共汗型まちづくり支援事業予算」		
予算額	19,513 千円	新規・充実・継続の別	継続
担当課	地域力推進室(592-3066)		
<p>【事業実施に至る経過・背景など】</p> <p>「区民提案型支援事業（山科“きずな”支援事業）」については、平成24年度からの9年間で、延べ293件を支援しているが、区民の手によるまちづくり活動を更に活性化するために、補助金の交付に加え、多面的な支援・協力を行う。</p> <p>「共汗型事業」については、平成29年度から実施している「やましな輝きプロジェクト」を中心に、区民との協働で地域課題の解決に向けた取組を行う。また、第3期山科区基本計画を作成し、区を挙げて推進に取り組む。</p> <p>「山科ブランディング事業」においては、山科区の転入超過トレンドを加速させるため、住みたいと思える魅力を市外の転居検討者や子育て世代などに効果的に情報発信するなど、山科のイメージ向上と定住者の増加に繋がる取組を展開する。</p>			
<p>【事業概要】</p> <p>【区民提案型支援事業】</p> <p>○ 山科“きずな”支援事業</p> <p>山科区における地域コミュニティの活性化と、区民主体のまちづくりを支援・推進するため、地域団体、NPO法人、大学等が行う主体的なまちづくり活動に対して補助金を交付し、まちづくり活動の広がりや活発化を目指す。</p> <p>【共汗型事業】</p> <p>○ 山科ブランディング事業</p> <p>不動産関連企業とタイアップし、区民から募った山科の暮らしやすさや魅力的なスポットなどを、プロの視点で訴求力ある形にコンテンツ化・データベース化し、住宅情報サイト等において効果的に情報発信を行うことで、山科のブランディングの推進を図るとともに、具体的な物件の紹介を行い、山科の定住人口の増加へつなげる。</p> <p>○ やましな輝きプロジェクト</p> <p>区民一人ひとりが、いきいきと輝き、活躍できる「住みやすい」「住み続けたい」まちの実現のため、安心・安全や子育て環境の充実、健康長寿などの観点から、「空き家対策」「熱中症ゼロ大作戦」「伝統文化体験学習」「子育て応援フェア」「子ども食堂支援」等の区民参加型の各種事業を実施する。</p>			
<p>【参 考（他都市の状況・事業効果など）】</p>			

令和3年度 京都市予算案 事業概要

下京区役所

事務事業名	京都ならではの地域力を活かした協働型まちづくり 「区民提案・共汗型まちづくり支援事業予算」		
予算額	13,647 千円	新規・充実・継続の別	継続
担当課	地域力推進室(371-7164)		
<p>【事業実施に至る経過・背景など】 令和3年度策定の次期下京区基本計画を着実に推進し、「レジリエンス」,「SDGs」,「文化力」を基軸に持続可能で豊かな地域社会を構築するために、以下に重点を置いた取組を推進する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 自治会・町内会や学区における地域のつながり, 共助の力の維持・向上 2 下京ならではの「地域力」を活かし, ウィズコロナ, アフターコロナに適応した「しなやかな強さ」を兼ね備えた地域づくり 3 京都駅西部・東部エリアをはじめとした各エリアの賑わいづくり, まち全体の活性化 			
<p>【事業概要】</p> <p>【区民提案型支援事業】</p> <p>○ 下京区まちづくりサポート事業「SHIMOGYO+GOOD」 「自分ごと, みんなごとのまちづくり」を実現するため, 次の150周年に向けて「良いことがたくさん京都・下京区」をつくる活動を応援する。令和3年度は引き続き, 地域や社会が抱える課題解決に向けた+GOOD(プラスグッド)な活動やソーシャルビジネス等の取組に対する支援を行う。</p> <p>【共汗型事業】</p> <p>○ 「共助のチカラ」再興プロジェクト(新規)</p> <p>ウィズコロナ時代にあっても, しなやかな強さを兼ね備えた「持続可能な地域づくり」を進めるため, 各学区の横の連携と住民同士をつなぐウェブサイトを新たに立ち上げるとともに, 地域SNSやICTの活用により, 若年層の地域活動への参加促進と, 区民相互のコミュニケーションを活発化し, 地域の支え合いによる「共助コミュニティ」の育成を図る。</p> <p>○ 下京区民“支え合い・絆づくり”支援事業</p> <p>環境問題を考えるとともに, 区民の絆をより一層深めるため, 下京区140周年を機に始まり, 令和2年度はコロナ収束に向け心を一つにするため実施した「しもぎょう伝燈祭」を引き続き区民ぐるみで育み, 発展させる。また, 地域の魅力発見等を通じて,</p>   <p>○ 下京みらい数珠つなぎプロジェクト</p> <p>下京区全体で子どもの健全育成を図り, 地域共生社会を実現することを目的に, 妊娠期からの子育て家庭の孤立化防止, ウェブサイトによる幅広い子育てに関する情報発信を行う。</p> <p>【参 考 (他都市の状況・事業効果など)】</p>			

令和3年度 京都市予算案 事業概要

南区役所

事務事業名	京都ならではの地域力を活かした協働型まちづくり 「区民提案・共汗型まちづくり支援事業予算」		
予算額	12,773 千円	新規・充実・継続の別	継続
担当課	地域力推進室(681-3417)		
<p>【事業実施に至る経過・背景など】</p> <p>「ずっと住み続けたい、住んでみたい南区」という目標を掲げ、南区が誇るみなみ力（地域力）による地域の「つながり」を基軸に、安心して子どもを産み育てられるように子どもや若者の「はぐくみ」を大切に、健やかに生き活きと暮らせるようなまちづくりを推進する。</p>			
<p>【事業概要】</p> <p>【区民提案型支援事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ みなみ力で頑張る！区民応援事業 地域交流の促進など地域の方々の多様なまちづくり活動を支援する。 ○ 学区の安心安全ネット継続応援事業（学区の安心安全応援事業） 地域（自治会等）主体の安心・安全の取組を支援する。 <p>【共汗型事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 地域ぐるみでの子育て支援の推進 大型商業施設や子育て支援ルーム「すくすくみなみ」、公園等を拠点とした子育て支援の取組、児童館等の子育て情報を展示する写真パネル展、オンラインでの子育て支援情報の発信など、関係機関・企業や地域のボランティアの力を結集して、地域ぐるみの取組を推進する。 ○ 健康長寿推進事業 子育て中の母親を対象とした乳がん予防等の指導・啓発、区民参加型のラジオ体操動画の作成・配信、地産野菜を使った料理レシピ紹介など、SNSを積極活用しながら、自分のことが後になりがちな若い親世代を含め、健康情報の発信を充実する。 ○ 南区情報ステーション事業 南区でまちづくりや人づくりに貢献している個人・団体・事業者等の情報や地域情報等を発掘・収集し、SNSで広く発信することで、地域に根差した「つながり」の更なる活性化を図る。 ○ 地域防災力強化「避難所体験型研修」事業 大規模災害の発生直後において、地域住民が主体となって、避難所を開設・運営できる体制を構築するため、住民（自治会・自主防災会等）と協働で体験型研修を実施する。 <p>【参 考（他都市の状況・事業効果など）】</p>			

令和3年度 京都市予算案 事業概要

右京区役所

事務事業名	京都ならではの地域力を活かした協働型まちづくり 「区民提案・共汗型まちづくり支援事業予算」		
予算額	21,938 千円	新規・充実・継続の別	継続
担当課	地域力推進室(354-6466)		
<p>【事業実施に至る経過・背景など】</p> <p>右京区制90周年の節目を迎える令和3年度は、右京区基本計画に基づき、右京区に暮らす一人ひとりが「わたし」と「わたしたち」の幸せな未来を思い描き、次の一步を踏み出し、進んでいくよう、右京区のまちづくりを進めていく。</p>			
<p>【事業概要】</p> <p>【区民提案型支援事業】</p> <p>○ 右京区まちづくり支援制度（充実） 区民の自発的・主体的なまちづくり活動を資金面、広報面で支援する。右京かがやきミライ会議等で創出された、まちづくりの「小さな一步」を実現するため、これまでの「地域力向上枠」及び「大学・学生枠」に加え、<u>「スタートアップ枠」</u>を新設する。</p> <p>【共汗型事業】</p> <p>○ <u>右京区制90周年記念事業（新規）</u> 節目の年が、区民にとって、右京区というまちと自分との関わりを考えるきっかけになるよう、記念式典を開催するほか、SNSでの情報発信等により、区内で活動する団体や企業、大学、区民とともに、年間を通じてまちづくりの機運を盛り上げる。</p> <p>○ 右京区基本計画の推進（充実） 区民一人ひとりが実現したい未来を思い描き、実現に向けた一步を踏み出す区基本計画を推進するため、個人の関心事からまちと関わるきっかけづくりや、<u>「気付き・学びを深める対話プロセス」</u>などを通じて、区民の行動を後押しし、協働に繋げていく。</p> <p>○ <u>京都超SDGs・京北未来かがやきビジョン推進事業（新規）</u> 京都京北小中学校の開校や「京都超SDGs コンソーシアム」の活動を契機に、京北未来かがやきビジョンを推進するため、推進会議や分野別検討会の運営、ニュースレター等による情報発信、ビジョンの実現に向けた地域の取組の支援を行う。</p>			
【参 考（他都市の状況・事業効果など）】			

令和3年度 京都市予算案 事業概要

西京区役所・洛西支所

事務事業名	京都ならではの地域力を活かした協働型まちづくり 「区民提案・共汗型まちづくり支援事業予算」		
予算額	19,725千円	新規・充実・継続の別	継続
担当課	西京区役所地域力推進室(381-7157) 洛西支所地域力推進室(332-9185)		
<p>【事業実施に至る経過・背景など】</p> <p>西京区基本計画で掲げたまちづくりを実現するため、区民主体のまちづくり活動を支援する「区民提案型支援事業」と、区民との協働でまちづくりの活性化や地域課題を解決する「共汗型事業」を実施している。</p>			
<p>【事業概要】</p> <p>【区民提案型支援事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 西京区地域力サポート事業 西京区基本計画に掲げる地域コミュニティの活性化と区民との協働によるまちづくりの実現に向け、区内で活動を行う団体が自発的、自主的に企画・運営する事業に対して、経費の一部を補助する。 <p>【共汗型事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 都市間連携による「京都・西山」観光振興事業（新規） 向日市、長岡京市等の近隣都市をはじめ、民間事業者、令和2年度に再興された大原野保勝会に参画する地域の社寺、飲食店等と連携し、シェアサイクル発着拠点の充実、ルートマップの作成、サイクリングの魅力発信など、自転車等を活用した観光振興策を企画・展開し、「京都・西山」のブランドを内外に広く周知・定着させる。 ○ 西京区基本計画進行管理 「西京まちづくり区民会議」を開催し、西京区基本計画の進捗管理を行うとともに、次期計画の策定を行う。重点取組として「次世代へつなぐプロジェクト」を新たに設定する。 ○ レッツ自治活動！大作戦 市内11区の中で最も低い自治会加入率の大幅な向上を目指し、加入促進ポスター・チラシ等を用いた広報の充実を図ることで、広く区民に地域自治・住民自治に関心を持ってもらう。また、令和2年度に実施したアンケート結果を基に、実態把握・課題抽出を行い、地域実情に応じた効果的な対策を検討し実践する。 ○ 大原野「地域ブランド」戦略の推進 令和2年度に点検・見直しを行った大原野「地域ブランド」戦略に基づき、目指す将来像「味わいたい・訪ねたい・住みたいまち”大原野”の実現に向け、農業の活性化・ブランド化と洛西ニュータウン（以下「NT」）等近隣エリアでの農産物の消費拡大を図るとともに、NT住民等の多様な人材を有効活用する等、従来の考え方に捉われない「新しい農業」の実現を迫る。また、大原野保勝会等とも連携し、西山文化を核とした大原野の誇り（郷土愛）の育成、地域の魅力発信などの観光振興を展開し、交流・定住人口の増加を図る。 ○ 未来の西京まち結び～みらまち結び～ 西京のまちを元気にしたい方、西京区の魅力をもっとみんなに伝えたい方、自分の好きをまちづくりや仕事に活かしたい方を結び、やりたいことの実現をオンライン相談会等により支援する。 			
【参 考（他都市の状況・事業効果など）】			

令和3年度 京都市予算案 事業概要

伏見区役所・深草支所・醍醐支所

事務事業名	京都ならではの地域力を活かした協働型まちづくり 「区民提案・共汗型まちづくり支援事業予算」		
予算額	35,445 千円	新規・充実・継続の別	継続
担当課	伏見区役所地域力推進室(611-1295) 深草支所地域力推進室(642-3125) 醍醐支所地域力推進室(571-6105)		
<p>【事業実施に至る経過・背景など】 伏見区では、平成24年度に創設した当予算を活用し、伏見区基本計画に掲げる伏見区の将来像の実現に向けた区民主体の取組を支援している。</p>			
<p>【事業概要】 厳しい財政状況下でも区民の安心安全を最優先に必要な地域活動への補助金を確保するとともに、伏見区役所・支所×各種団体×地域企業×大学×NPO等との協働・創意工夫で財源を創出し、次の伏見区100年を見据えた、伏見区90周年、府市協調による「みなとオアシス」の推進など持続可能な伏見のまちづくりを推進する。</p>			
<p>【区民提案型支援事業】</p> <p>○ 伏見区区民活動支援事業 伏見区内で持続可能なまちづくりに資する活動を行う団体への支援を実施。また、ウィズコロナ社会を踏まえ、各種SNSを活用した即時的な情報発信等の伴走支援を積極的に展開する。</p>			
<p>【共汗型事業】</p> <p>○ <u>伏見区誕生90周年記念事業～次の伏見100周年を目指して～（新規）</u> 令和3年4月の伏見区誕生90周年を踏まえ、区内の地域企業をはじめ、高校・大学、NPO等との協働で、それぞれの“強み”や“資源”を活かし、伏見区の歴史や文化の学び・体験を通じ、次代の伏見の担い手づくり、歴史文化の継承を図る。</p> <p>○ <u>伏見地域の経済・観光振興～伏見から京都の経済・観光の再生を牽引～（新規）</u> 全国唯一の内陸河川港湾である伏見港の「みなとオアシス」への登録（令和3年春頃）を契機とした、持続可能な賑わいづくりに向けた取組を、府市協調の下、オール伏見による協議会を中心に魅力発信・創造、府による伏見港再整備、国による淀川舟運復活の動きと連動し、推進する。</p> <p>○ <u>深草いいトコ・体感プロジェクト（仮称）（充実）</u> 交通の利便性が良く、コンパクトに回遊できる深草地域の利点を活かし、域内経済循環と地域経済を活性化。具体的には、民間事業者等との連携による「深草で見る・体験する・食べる・買う」に関する情報発信と体感事業を実施。地域住民の利用促進と「マイクロ・ツーリズム（近郊の旅行）」として域外からの来訪を促進する。</p> <p>○ <u>だいが地域活動応援隊（新規）</u> 地域のまちづくり活動の更なる活性化を図るため、学生等のボランティアを地域に派遣する「だいが地域活動若者応援隊」と文化活動のノウハウやスキルを持つ団体を地域活動の場につなぐ「だいが文化活動応援隊」を統合し、幅広く、地域活動に意欲のある人財が地域で活躍できる場を創出する。また、ウィズコロナに対応し、リモートや動画配信などICTツールの活用も支援する。</p>			